

光栄の森

平成24年8月 毎月1日発行 第50号
発行者 光栄プロテック 重延

8月を迎えて

代表取締役 三田雅憲

祇園・天神と夏の風物詩である祭りも終わり、いよいよ暑さ本番といったところでしょうか。連日30℃を超える真夏日で、工場内も40℃近い状況ですが、社員皆が頑張ってくれています。体調には十分気をつけてください。

先日、当社のメインバンク京都銀行の本店に、高崎秀夫頭取へのご挨拶にいらしました。創立25周年記念祝賀にご列席いただいた時にはすでに頭取就任の内示をうけておられたことを後日談でお聞きしたのですが、当日のお姿からはそのような態度は微塵も感じられず、早くから会場に足を運んでいただき、腰の低い丁寧なご挨拶を頂戴いたしましたことがとても印象的でした。

高崎頭取との出会いは20年前にさかのぼります。当時、京都銀行寝屋川支店の支店長をされていて、そこへ家内（事務長）が配属されました。支店長が緻密で細やかで、優しく部下を見守る人望の厚い上司だったこと、またその下で仕事のノウハウや人間関係を学ばせてもらったことが彼女の当時の懐かしい話の中に出てまいります。その結果、支店で発生するさまざまな苦難を皆で乗り越え、4年間の支店長在任の最後にはトップクラスの成績を上げられて本店へ栄転されたそうです。

部下の良い面を見てそれを伸ばしていく、どんなつらい状況であれ決して諦めずがんばるといった支店長時代の経験を、頭取になられた今でも支店長会議でお話しされるそうです。「当時の自分の厳しい状況での話を赤裸々に部下に話すことは、あまり格好の良いことではないと思う。しかしそれが共感を呼んで、よし頑張ろうと思ってくれるのであれば、そのことはやぶさかではないと思っている。」とも言われました。自分自身はまだまだ足元にも及ばないし、人の長所を見ていく努力も大いに必要であることを痛感いたしました。短所を指摘されるより長所をほめられた方がどれだけ嬉しいことか。忘れかけていた基本的なことを学ばせていただきました。帰りは駐車場までお見送りをいただき、本当に嬉しいひとときを過ごさせていただきました。京都銀行さんでの優良企業に名を連ねられるよう心から頑張りたいと思いました。

また、7月14日・15日の両日は、社員とともに京都嵐山の小旅行へ出かけました。この旅行の目玉であるトロッコ列車や保津川下りは前日の豪雨の影響が心配されましたが、当日は天候に恵まれユニークな車掌さんや船頭さんとの掛け合いもあり、とても楽しい思い出となりました。嵯峨野の湯豆腐、旅館での温泉や食事大変すばらしく、社員一同リフレッシュできたのではと思います。詳細は裏面ページの写真をご覧ください。次回もまたこのような機会が持てますよう、仕事は厳しく困難が多いと思いますが、常にお客様や仕事そのものの仕様をよく考えて皆が能動的に行動できるよう頑張ってもらいたいと心から願っています。

8月は硫化いぶしやその他の突発的な仕事も入ると思います。何とか頑張って皆で数をこなしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。